

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-304703

(43)Date of publication of application : 28.10.1992

(51)Int.Cl.

H03B 1/00  
H05K 5/02  
H05K 5/06

(21)Application number : 03-069656

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 02.04.1991

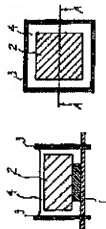
(72)Inventor : KUSAMITSU HIDEKI

## (54) VIBRATION PREVENTION MOUNT STRUCTURE FOR OSCILLATOR

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To reduce the man-hour for mounting a vibration prevention member and to facilitate simple automation by employing the vibration prevention member made of a gelable liquid material.

**CONSTITUTION:** An oscillator 2 is put on a vibration preventing member 1 and the surrounding part is surrounded by box shaped side plates 3 acting like an electromagnetic wave shield plate. A two liquid mixture material is injected between the oscillator 2 and the side plates 3 and all the surrounding parts are packed. That is, a two-liquid mixture vibration prevention member 4 formed to be a gel after a prescribed time is formed by injecting a liquid material generated by mixture of two liquids to the surrounding of the oscillator 2 accommodated in the box. Thus, the vibration prevention member in which the liquid material is changed in a gel is used to reduce the mount process of the two- liquid mixture vibration prevention member 4 and since only the liquid injection is required for the work, automation is implemented simply and the work man- hour is considerably reduced.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-304703

(43) 公開日 平成4年(1992)10月28日

(51) Int. Cl. <sup>4</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 3 B	1/00	9182-5 J		
H 0 5 K	5/02	L 6736-4 E		
	5/06	A 6736-4 E		

審査請求 未請求 請求項の数1 (全 2 頁)

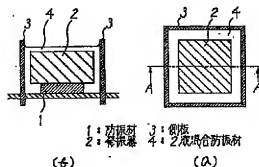
(21) 出願番号	特願平3-69656	(71) 出願人	000004237 日本電気株式会社 東京都港区芝五丁目7番1号
(22) 出願日	平成3年(1991)4月2日	(72) 発明者	草光 秀樹 東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 内原 晋

(54) 【発明の名称】 発振器の防振材実装構造

(57) 【要約】

【構成】 箱体内に収容される発振器の周辺部に2液を混合して作成される液状材料を注入して、所定時間後にゲル化させる防振材を形成している。

【効果】 液状の材料がゲル状に変化する防振材を用いることによって、防振材の実装工程を大幅に減らすことができる。また、作業自体は液体の注入のみであるので、簡単に自動化行なうことが可能であり、作業工数を大幅に削減できる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 箱体内に收容される発振器の周辺部に2液を混合して作成される液状材料を注入して、所定時間後にゲル化させる防振材を形成していることを特徴とする発振器の防振材実装構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は発振器の防振材実装構造に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の発振器周辺への防振材の実装構造は図2(a)、(b)の平面図および図2(a)のA-A断面図に示すように、あらかじめ板状の防振材6A~6Eを適当な大きさに形成して、発振器2の周囲を囲っている側板3との間にこの防振材6A~6Eをはさみ込む構造とがとられていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 この従来の実装構造では、あらかじめ板状に形成された防振材を作業者が切断してはさみ込む作業が必要なので、作業に時間がかかり、また熟練を要する欠点がある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の発振器の防振材実装構造は、箱体内に收容される発振器の周辺部に2液を混合して作成される液状材料を注入して、所定時間後にゲル化させる防振材を形成している。

【0005】

【実施例】 次に本発明について図面を参照して説明す

2

る。図1(a)、(b)は本発明の一実施例の平面図および図1(a)のA-A断面図である。

【0006】 図1(b)において、防振材1の上に発振器2が乗せられ、その周辺部を電磁波シールド板を兼ねた側板3で囲っている。この発振器2と側板3との間を2液混合型材料、例えばシルボット300A、300Bを注入して周辺部すべてを充てんする。この作業工程の後に室温で約24時間放置する。24時間後に充てんされた2液混合防振材4はゲル状になり、本来の防振材としての役目を果たす。

【0007】

【発明の効果】 以上説明したように本発明は、液状の材料がゲル状に変化する防振材を用いることによって、防振材の実装工程を大幅に減らすことができる。また、作業自体は液体の注入のみであるので、簡単に自動化を行うことが可能であり、作業工数を大幅に削減できる効果を有する。

【図面の簡単な説明】

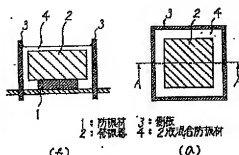
【図1】 (a)は本発明の一実施例の平面図、(b)は図1(a)のA-A断面図である。

【図2】 従来の発振器の防振材実装構造の平面図およびA-A断面図である。

【符号の説明】

- 1、6A~6E 防振材
- 2 発振器
- 3 側板
- 4 2液混合防振材
- 5 側板

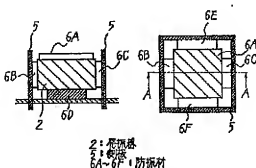
【図1】



(b)

(a)

【図2】



(b)

(a)